報道関係者各位

NEWS　RELEASE

2026 年 11 月 26 日
愛広発 情報 Box26-29

下記の通り概要をお送りいたしますので、貴社の媒体等を通じ、一人でも多くの方に紹介させていただきたく、ご配慮いただきますと幸いに存じます。また当日は取材にお越しいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

# 米国ハワイ州最高裁判所判事が愛知大学で講演
# 「性の多様性と司法のチカラ―最高裁判決、その先にある未来―」を開催
## 性の多様性や婚姻の平等をめぐる法的課題と司法の役割を考える

愛知大学は、2026年12月2日(水)、公開講演会「性の多様性と司法のチカラ―最高裁判決、その先にある未来―」を名古屋キャンパスにて開催します。

本講演会では、米国ハワイ州最高裁判所判事であるサブリナ・S・マッケナ氏を講師に迎え、性の多様性や婚姻の平等をめぐる法的課題、そして社会変革において司法が果たす役割について考えます。

マッケナ氏は、日本で育った後に米国で法曹の道を歩み、2011年からハワイ州最高裁判所判事を務めています。また、LGBTQ当事者であることを公表したアジア・太平洋系米国人として初めて州最高裁判所判事となり、多様性と平等の推進に尽力してきました。

当日は、鈴木げん氏(浜松TG研究会代表)、水谷陽子氏(弁護士、「結婚の自由をすべての人に」訴訟愛知・東京弁護団)による指定コメントのほか、婚姻平等に関する展示や学生によるポスター発表も実施します。

本学は本講演会を通じて、多様な価値観と共生社会について考える機会を広く地域社会へ提供します。ぜひご取材くださいますようお願い申し上げます。

開催概要
【名称】性の多様性と司法のチカラ―最高裁判決、その先にある未来―
【日時】2026年12月2日(水) 18:30～20:15(開場17:00)
【会場】愛知大学 名古屋キャンパス グローバルコンベンションホール
住所:名古屋市中村区平池町4-60-6
【基調講演講師】サブリナ・S・マッケナ氏 (米国ハワイ州最高裁判所判事)
【参加費】無料
【申込】不要
【企画・主催】科学研究費助成事業 基盤研究(C)「婚姻制度の中立化に関する調査研究」
(課題番号23K11677 研究代表者:立石直子)
【協賛】愛知大学法学部 愛知大学法科大学院
【協力】公益社団法人Marriage For All Japan 結婚の自由をすべての人に訴訟愛知弁護団
【後援】愛知県弁護士会

＜講師プロフィール＞
サブリナ・S・マッケナ氏
米国ハワイ州最高裁判所判事。日本で育ち、1982年にハワイ大学法科大学院を修了。弁護士、企業内弁護士、法科大学院教員などを経て、1993年にハワイ州裁判官に就任。2011年よりハワイ州最高裁判所判事を務める。LGBTQ当事者であることを公表したアジア・太平洋系米国人として初めて州最高裁判所判事となり、多様性と平等の推進に尽力。2021年に米国法曹協会(ABA)ストーンウォール賞、2023年にマーガレット・ブレント女性法律家功労賞を受賞。

詳細は愛知大学公式サイトニュースまたは添付のチラシをご覧ください。
https://www.aichi-u.ac.jp/news/99907　(右記二次元コードからも確認いただけます⇒)

＜お問い合わせ先＞
愛知大学法学部立石研究室　　E-mail:tate705@vega.aichi-u.ac.jp

発信元　愛知大学 企画部広報課
名古屋市中村区平池町 4-60-6